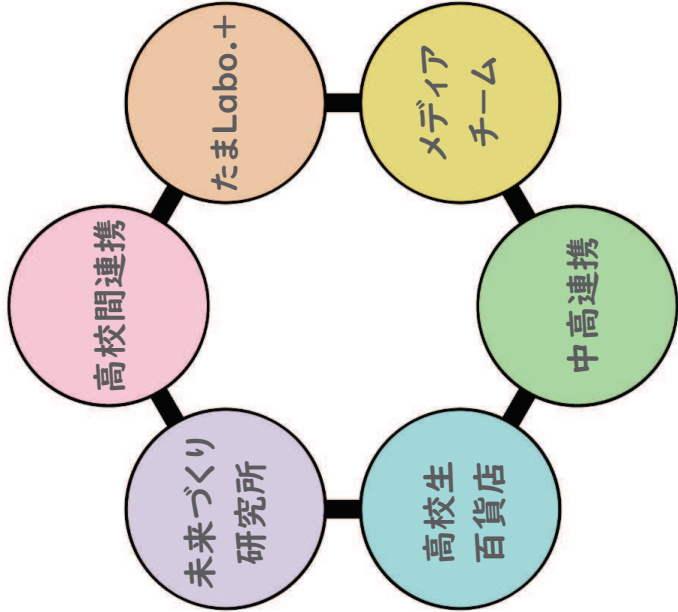


取り組み事例紹介(1)

Value 2026 - つながる学びの推進 -

たまなで学びたいという教育環境づくりには、「他の地域や学校にはない、**玉名ならではの「オンリーワン」**を見つける、もしくは**生み出して、進化させる**」ことが必要。

◆ Valueに基づいて現在、**6つの取り組み**を進めています



取り組みについて

高校間連携	・各校の特色ある学びと立地特性を活かし、生徒が学校の枠を越えて他校の学びを体験する「相互乗り入れ」を実現する取り組み。移動負担の少ない環境で互いの学びを開放し合うことで生徒の学びの選択肢を広げる。
未来づくり研究所	・高校生から29歳以下の玉名に想いを持った若者が集まり、魅力的なまちづくりを考える取り組み - 大学の教授などを講師に招き、講演やワークショップを中心に6回実施し、最終回では発表を行う
高校生百貨店	・大阪のNPO法人と連携し、商品選定、仕入れ、取材、接客販売など実践的なプロセスを一貫して体験する。ワークショップ5回＋実践販売会の計6回実施し、販売会はアマチュアが熊本で開催。
たまLabo.+	・高校生が主役！地域と連携しながら、好きなこと・得意なことを活かして主催事業の企画・運営等を行う校外活動サークル。周辺市町との連携や、他県の高校生との交流なども行う。
メディアチーム	・地元ケーブルテレビ局「ひまわりテレビ」と連携。メディアに興味のある高校生メディアチームとテレビ局関係者での企画会議を実施し、高校生が実際にレポートした番組を月1回程度放送中。
中高連携	・CNIによる市内中学校へヒアリングの実施（年2回）・玉名市教育委員会との連携構築 ・玉南中学校からの依頼による中高連携モデル事業「玉名市内高校見学バスツアー」開催

取り組み事例紹介(2)

Value 2026 - 魅力発信事業および発信力の強化 -

取り組みについて



市広報紙連載

今年度から市広報紙に高校魅力化通信コーナーを新設。各校の情報や市の高校魅力化に関する取り組みを毎号掲載し、幅広く情報を発信。市HPにも高校情報発信コーナーを整備し、情報を掲載。

高校まつり

今年度で5回目の開催。市内5校+ゲスト校1校によるワークショップや作品販売など学習発表の場であり、地域へのPRおよび地域交流を図る場として開催。高校まつり実行委員会を編成し、開催準備をすすめている。

今年度は10月10日(土) 玉名市民会館ホール棟で開催

魅力発信情報誌

各校のトピックスをまとめた情報誌「TAMA CRAM」を昨年度より継続してCNが作成し、発行。玉名市内の全中学校に加え、周辺自治体(荒尾・山鹿玉東・和水・南関・長洲)の全中学校や商業施設にも配架。